

選定に必要な資料

(種目名 数学)

No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・例題, 確かめ問題, 問題で構成され, スモールステップで学習内容を確認できるよう工夫されている。(1年p14)</p> <p>・「ちょっと確認」で既習内容の確認, 「もっと練習」でチャレンジ問題に挑戦でき, 個々の理解度に応じて取り組めるよう配慮されている。(1年p20)</p>	<p>・1年「平面図形」では第1節に図形の移動を配列し, 必要に応じて基本的な用語や記号を学べるよう配列を工夫している。(1年p140-150)</p> <p>・3年「平方根」の最後に素因数分解を配列し, 根号を含む計算で素因数分解を利用しやすいよう配慮している。(3年p46-47)</p>	<p>・生活の中で数学を生かして疑問や問題を解ける例を多く取り上げ, 数学への興味関心や有用性を実感できるよう工夫されている。(1年p99, 221, 245, 2年p52, 55)</p> <p>・関数領域では表, 式グラフを相互に関係づけて理解できるよう工夫されている。(1年p121, 131, 2年p64)</p>	<p>・まちがいを直す問題を通して, まちがいや正しい方法を相手に分かりやすく説明することで言語活動に取り組めるよう工夫されている。(1年p20)</p> <p>・巻末の「社会とつながる」「活用の問題」では職業や環境問題, 国際理解などと関連づけて数学の有用性を実感できるよう工夫されている点で優れている。(1年p244-255, 2年p192-203, 3年p232-235, 238-243)</p>	<p>・巻末に既習内容のまとめがあり復習できるよう工夫されている。(1年は算数。2年は1年間の学習内容。3年は3年間の学習内容と系統性も示されている。)</p> <p>・導入や学び合いでの問題解決的な学習は自分でじっくり考えることができるよう右ページ始まりとし, 解説が見えないように工夫されている。(1年p45, 82, 93)</p>	<p>・巻末の索引は語句だけでなく簡単な図もあり, 学習内容を思い出すきっかけとなるよう工夫されている。</p> <p>・無料で使えるデジタルコンテンツがあり, 教科書と合わせて使うことで理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>・インデックスが付いていて, 必要なページを開きやすいように工夫されている。</p>	<p>・内容のまとめりに何を学習するか(目標)が示されており, 生徒が主体的に見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>・学び合いの課題では友だちの考えを知ることや多様な考えにふれ話し合いを通して考えを深めていけるよう工夫されている点で優れている。(1年p45)</p>
B 大日本図書	<p>・式を読み取ったり, 説明したりする学習を取り入れ, 思考力や表現力を高められるように工夫されている。(1年p71, 81)</p> <p>・補充問題「プラス・ワン」を問いの横に配置し個々の生徒の習熟度に合わせて学習できるように配慮されている。(2年p47)</p>	<p>・見開き2ページを小節として構成されており, 学習の見通しが持てるように工夫されている。</p> <p>・レポートの書き方とその例をあげて, 自主的な研究ができるように工夫されている。(1年p93, 94)</p> <p>・1年巻末に小学校の復習とまとめの問題があり, 算数について学び直しができるように配慮されている。(1年p282-291)</p>	<p>・問題の解説に空欄が設けられており, そこに入る数や文字式を入れながら解いていくように工夫されている。(3年p65)</p> <p>・解答例が目立つようにレイアウトされ, 必要な事項が簡潔に示されるように工夫されている。(1年p113)</p>	<p>・「社会にリンク」では様々な職業で数学が活用されていることがわかり, 自分の将来と数学を結びつけて考えることができるように工夫されている。(1年p158)</p>	<p>・各章末に発展的な問題を提示することで, 難しい問題に挑戦できるよう配慮されている。(1年p232, 233)</p> <p>・巻末の「Mathful」では数学の歴史や実生活への応用が紹介されており, 数学の有用性が実感できるように配慮されている。</p> <p>・「練習」を随所に配置し, 技能の習熟を図るための工夫がなされている。(2年p24, 25)</p>	<p>・数学を学ぶ意義や必要性が理解できるよう配慮されている。(全学年巻頭, 3年p262)</p> <p>・章末に単元全体を振り返る問いが設けてあり, 包括的な受け止め方ができるように工夫されている。(1年p91)</p>	<p>・実生活での体験や具体物を使った問題場面から学習が始まるように構成されており, 必要感が持てるように工夫されている。</p> <p>・章末に, 学んだことをもとにして解決できる問題や, 活用して考える問題を配置し, 興味・関心を高めるような構成になっている。(1年p56, 57)</p>

選定に必要な資料

(種目名 数学)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
E 学校図書	<p>・数と式領域では例題の解説に改行ごとに吹き出し形式で補足説明がされ, 理解を助けるよう工夫されている。(1年p80, 81)</p> <p>・基礎・基本問題を集めた「計算力を高めよう」を設け, 技能を確実に習得できるよう工夫されている。(1年p35, 55, 85, 107)</p>	<p>・「クローズアップ」では生徒が抱く素朴な疑問を生かし, 学習した内容を深めたり, 他学年で取り組む発展的な内容に挑めたりできるように, 工夫されている。(1年p46, 71)</p>	<p>・1年「立体の投影図」, 2年「多角形の外角の和」, 3年「三平方の定理」ではパラパラマンガで視覚的に分かりやすいよう工夫されている。(1年p211-229, 2年p117-137, 3年p195-217)</p> <p>・インデックスが付けてあり, 学習内容を探しやすいよう工夫されている。</p>	<p>・1年「資料の活用」では, 章末に学習した内容がパソコンを使って活用できることが紹介されている。</p> <p>・まとめにある「活用の問題」や「深めよう」「クローズアップ」では関連する職業や仕事ができるよう工夫されている。(1年p58, 88, 2年p101, 178)</p>	<p>・巻頭には「数学で使われる考え方(類推・帰納・演繹)」を設けて数学的な考え方を養う工夫がされている。</p> <p>・2, 3年生巻末に図形の性質が折り込み式でまとめられており, 証明の際に活用しやすいよう工夫されている。</p>	<p>・巻頭に教科書に使われる単位がまとめられ, 国際的な表し方を意識できるように配慮されている。</p> <p>・1年の空間図形の冒頭に, 仁摩サントミュージアムの写真が載っており, 建物を立体として捉えるきっかけとなる。</p>	<p>・領域ごとに関連する既習内容がまとめられており, 学習のつながりを意識できるよう工夫されている。(2年p10-11)</p> <p>・巻末にある1年間のまとめの問題では, 基礎・基本となる問題にはマークが付けられ, 基礎・基本の力が身につくよう工夫されている。</p>
G 教育出版	<p>・問題の説明が詳しく理解しやすいように工夫されている。</p> <p>・解き方を2通り並べて示したり, 間違いを見つけたりする問いがあり, 意味を考えながら技能の習熟が図れるように工夫されている。(2年p23)</p>	<p>・二次方程式の解き方では, 既習事項を使って問題を解いていくよう工夫されている。(3年p77-86)</p> <p>・章末「チャレンジコーナー」, 「ジャンプ」では学習内容に関連した実践的な課題に取り組めるよう, 工夫されている。(1年p247, 2年p136)</p>	<p>・「数学ミニ事典」で数学に関係する事象を取り上げ, 数学の有用性に気付かせるように工夫されている。(3年p230)</p> <p>・「数学の広場」で, 学習内容を深めたり, 実生活で数学が使われている場面を紹介したりして, 興味・関心を高めるように工夫されている。(2年p100)</p>	<p>・巻末「自由研究」で, 連絡網の作り方や石取りゲームの必勝法などが取り扱われており, 数学を日常生活に生かしていく楽しさが伝わるように工夫されている。(3年p248)</p> <p>・「自由研究」で点字の仕組みを扱っており, 共生社会についての配慮がされている。(2年p210)</p>	<p>・問題を解いて終わりではなく, 条件を変えたり, 他の解き方を考えたりすることで新しい課題を発見できるように工夫されている。(3年p241)</p> <p>・章末の「学習のまとめ」は, 簡潔に学習内容を振り返ることができるように工夫されている。(3年p167)</p>	<p>・数学的な考え方を身につけられるように工夫されている。(1年p262, 263)</p> <p>・高校で習う数学を紹介し, 中学校卒業後も学び続ける意欲を高めるように工夫されている。(3年p252)</p>	<p>・章末では, 徐々に難易度を上げる構成となっており, 多様な生徒に対応できるように配慮されている。(3年p167-172)</p> <p>・言語活動を取り入れた学習活動があり, 協同的な学習ができるように工夫されている。(1年p249)</p>

選定に必要な資料

(種目名 数学)

No.3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
M 新興出版社啓林館	<p>・[例][問]とスモールステップで進んでいくように構成されており基礎・基本の定着をはかるように工夫がされている。(1年p62-64)</p> <p>・話し合ったり, 自分の言葉で伝えたりする活動を通して, 論理的な思考力を高めるように工夫されている。(3年p109)</p>	<p>・関連した既習事項を「ふり返り」として載せつまずきに対応できるように, 配慮されている。(3年p116)</p> <p>・学習したことを身のまわりの事象に応用して考えられるように工夫されている。(2年p162, 163)</p>	<p>・導入で話し合い活動を取り入れることで, 多様な考えを出し合い学習意欲を高めるように工夫されている。(2年p12, 13)</p> <p>・「数学展望台」で数学と日常生活との関わりが紹介されており, 興味・関心を高めるように工夫されている。(1年p113)</p>	<p>・仁摩サンドミュージアムの写真が載せられている。(1年p166)</p> <p>・正の数・負の数の単元で, 午前6時の松江の気温が示されている。(1年p14)</p> <p>・車いすバスケットボールや点字を扱った問題があり, 様々な特性のある人々が共生する社会に配慮されている。(2年p46, 202)</p>	<p>・「問い」と巻末の「くり返し練習」で, 類似問題がわかるように表示され, 自学しやすいように配慮されている。(3年p178問5→p214⑩)</p> <p>・章末「基本のたしかめ」では学習内容を簡潔に文章表記してあり自己評価しやすいように配慮されている。(1年p163)</p>	<p>・巻頭「学習の進め方」では, 数学の学習について詳しく説明してあり, 学年の初めに意欲的に授業に取り組めるように配慮されている。(2年p6-11)</p> <p>・「見方・考え方」が示してあり, 数学的な考え方が身につくように工夫されている。(1年p10)</p>	<p>・別冊「マスナビブック」に各章に関連する既習事項, 学習の活用, 自由研究の進め方・テーマ例が載せてあり, 発展的な学習に繋がるように, 工夫されている。</p> <p>・章末問題「千思万考」では, 思考力が要求される問題を出すことで個に応じた配慮がなされている。(1年p134)</p>
N 数研出版	<p>・「たしかめよう」では, 節毎の確認ができ章末の「基本問題」で繰り返し内容を確認できるよう工夫されている。(3年p86, 91)</p> <p>・「伝え合おう」では多様な考え方を知り, 互いに説明することで学びあえる配慮がされている。(2年p54)</p> <p>・3つのキャラクターの役割分担があり, 課題の整理に役立つよう工夫されている。(3年p190, 191)</p>	<p>・巻頭に前学年の基礎的・基本的な内容の問題「クイックチャージ」で, 既習事項の復習・確認をした上で学習を進めることができる構成となっている。(3年p4-13)</p> <p>・巻末の「数学探検」では, 身の回りにある数学に関することを探しながら, 既習事項を使って解決できる問題が工夫されている。(3年p216, 217)</p>	<p>・各章末に「やってみよう」のコーナーがあり, 学習を振り返ることや次時へのつながりがわかる配慮がされている。(1年p80)</p> <p>・各章の導入では, 見開き2ページを使って, 課題が提示され, その課題をもとに学習が展開されるよう工夫されている。(2年p38, 39)</p>	<p>・「やってみよう」や「Q」で実際の生活場で数学を利用して解ける問があり, 取り組みやすい配慮がある。(2年p95, 3年p135, 214)</p> <p>・ノートづくり方(1年カラー差し込みページ)が紹介されており理解が深まるような配慮がされている。</p>	<p>・各章のセクションで「ここで学ぶこと」とめあてが提示され, 自学がしやすい配慮がある。</p> <p>・「NOTE」では, まとめる力や表現力を育成する配慮があり, 同時に注意事項も図を使用する等わかりやすく提示されている。(1年p56, 89, 150)</p> <p>・「数学探検」では, 身の回りの数学や歴史など, 自発的に取り組める課題が工夫されている。(1年p225-238)</p>	<p>・表紙裏に, 仁摩サンドミュージアムの写真が大きく掲載されている。(1年表紙裏)</p> <p>・ぐんぐん伸ばそうチャレンジでは補充と発展的な内容で学び直しができる配慮がある。(1年p240)</p>	<p>・巻頭に「クイックチャージ」を設け, 全学年の基礎的・基本的な内容の復習を確認しながら学習を進めることができる構成となっている。(1年p4-9, 2年p4-13, 3年p4-13)</p> <p>・例→問→たしかめ, という簡素化された流れで構成されており, 内容を整理しながら学習できる配慮がされている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 数学)

No.4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
○ 日本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふり返り」では, 既習事項の確認ができる工夫がある。(2年p97)</li> <li>・「話し合おう」で, 間違いの例から思考力を問う話し合い活動が工夫されている。(3年p77)</li> <li>・章末に基礎の問題, たしかめの問題, やや程度の高い問題が用意されており, 多様な生徒への対応が工夫されている。(1年p52-55)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もくじ」に「これまでに学んだこと」が明記してあり, 前学年や小学校とのつながりがわかる工夫がある。</li> <li>・各章の直前に「〇〇を学ぶ前に」があり, 既習事項の確認ができる構成となっている。(1年p57)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学たんけん」では, 身の回りの実例が写真等で紹介されており, 興味・関心を高めるように工夫されている。(1年p19)</li> <li>・導入を見開き2ページで写真等を使って提示してあり, これから学習する内容へ意欲を持たせる工夫がある。(3年p73)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仁摩サンドミュージアムが四角すいの例として取り上げられている。(1年192)</li> <li>・「生活への利用」(3年p139)リサイクル(2年p53)など, 写真を使い実生活に関する課題提示の工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジの問いの解が裏面に載せてあり, 確認しやすい。(2年p45, 46)</li> <li>・別解が横並び記載されており, 多様な解き方がわかりやすく工夫されている。(2年p18)</li> <li>・発展では, 既習事項を使って解決でき, 高校で学習する内容を考えられるような場面が設定され, 意欲的に取り組めるような工夫がされている(3年p177)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年巻末に数学の歴史年表があり, 数学の発展の様子がわかるように工夫されている。(3年裏表紙)</li> <li>・巻末のマイトライでは, 「歴史」「理科」「福祉」等, 他分野とのつながりのある題材が多く扱われている。(2年p188-199)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭で「この本の使い方」「数学の学習での大切なこと」「ノート工夫」が, 具体的に表記され, 授業の取組や, 家庭学習の手助けとなるよう工夫されている。</li> <li>・解答例が, 罫線の入ったノート形式となっており, 分数の書き方を含め, わかりやすく示すように配慮されている。</li> </ul>